

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
羽田盃	2019/4/24	SI	大井	1800m	スローペース	稍重	総合力

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	トーセンボルガ	牡3	56	川島	トーセンモナー		Mineshaft	ナスルーラ系	D	C	D	C	D	D		
	2	カジノフォンテン	牡3	56	本田	カジノドライヴ	ナスルーラ系	ベストタイアップ		C	C	B	B	B	B	×2	
2	3	サクセッサ	牡3	56	石崎駿	アドマイヤオーラ	サンデー系	ブラックタキシード	サンデー系	C	C	C	B	C	C		
	4	オーシャンブラック	牡3	56	柏木	ストロングリターン	ロベルト系	ジェニユイン	サンデー系	D	C	C	C	C	C		
3	5	ハナズボンダイ	セ3	56	達城	ドリームジャーニー	サンデー系	スニツヅエル	ノーザン系	D	C	C	C	C	C		
	6	ウィンターフェル	牡3	56	森	ダンノンバラード	サンデー系	プリサイスエンド	ミスプロ系	A	A	B	A	A	B	◎	
4	7	アエノエンペラー	牡3	56	吉原	フリオーン	ロベルト系	スウェプトオーヴァーボード	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	▲	
	8	フォルベルス	牡3	56	町田	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アサティス	ノーザン系	D	C	D	C	D	D		
5	9	シビックヴァーゴ	牡3	56	笹川	バゴ	ナスルーラ系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	C	B	B	C	C	B	×1	
	10	ミュウチャリー	牡3	56	御神本	パイロ	ナスルーラ系	ブライアンズタイム	ロベルト系	A	A	B	B	A	B	○	
6	11	ヤマショウブラック	牡3	56	高松	ルースリンド	ミスプロ系	ダンスインザダーク	サンデー系	C	C	B	C	C	C		
	12	ステッペンウルフ	牡3	56	矢野	サウスヴィグラス	ミスプロ系	アグネスタキオン	サンデー系	B	A	B	B	B	B	△2	
7	13	アギト	牡3	56	左海	トゥザグロリー	ミスプロ系	ブライアンズタイム	ロベルト系	C	B	B	C	C	C		
	14	フォルデュラン	牡3	56	檜崎	スマートファルコン	サンデー系	エルハーブ	ノーザン系	D	D	D	C	D	D		
8	15	ジョーパイロライト	牡3	56	張田	パイロ	ナスルーラ系	ダイワメジャー	サンデー系	C	C	C	B	C	B	△3	
	16	ホホワイトヘッド	牡3	56	本橋	ダンカーク	ミスプロ系	ステイゴールド	サンデー系	B	C	B	C	B	B	△1	

隊列図	見解	ラップタイム
ハナズ ウィン トーセ ステッ カジノ ジョー フォデ サクセ アギト ミュウ アエノ ホワイ シビッ フォベ ヤマシ オーシ	<p>J R Aの皐月賞ではトライアルの弥生賞やスプリングステークスの価値が低下しているが、羽田盃は昔からトライアルの京浜盃が最重要レース。過去5年の羽田盃3着以内馬は15頭中9頭が前走京浜盃組となっている。非京浜盃組で勝利を挙げたのは、17年キャプテンキングのみ。同馬はJ R Aからの移籍初戦。かなりイレギュラーな参戦で、生え抜きの地方馬に限れば、勝ち馬はすべて京浜盃組から誕生している。今年から雲取賞がS3に格上げされたので、これからは雲取賞→羽田盃というローテも出てきそうだが、今年の羽田盃の出走馬を見渡す限り、雲取賞からの直行ローテはミュウチャリーのみ。今年も京浜盃組が中心になると見ていだろう。ここは上位2頭が3着以内に入る前提で馬券を買いたい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はウィンターフェルの王道競馬に期待したい。今年初戦の京浜盃は3コーナーで1~4番手にいた馬のうち3頭が12、13、14着に敗退（14頭立てだったので前に行った馬が下からワンツースリー）。その中で本馬は外目3番手を追走し、最後までしぶとく粘って2着に好走。かけ値なしに強い競馬で、終始インペタで完璧な騎乗に助けられた勝ち馬ステッペンウルフより強かったのは間違いない。（以下省略）</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

ミドルペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	トーセンボルガ		重賞ではハイセイコー記念4着、ニューイヤーカップ6着と掲示板が精いっぱい現状。スピード優位のタイプでタフな大井1800mも向いていない。		
	2	カジノフォンテン	×2	大型馬らしくエンジンのかかりが遅く、非常に乗り難しいが、能力はここでも通用するはず。揉まれていいタイプではないので、1枠2番はマイナスだが、好位の2、3番手で運び、直線でスッと外に持ち出せるなら馬券圏内に食い込むチャンスはあるか。		
2	3	サクセッサ		相手なりに走る面はあるが、南関東に転入後はいまだに未勝利。前走クラウンカップからメンバーレベルは一段と上がるので、上位進出は難しいだろう。		
	4	オーシャンブラック		羽田盃と同舞台の雲取賞では16着に敗れ、前哨戦の京浜盃では7着に敗退。S Iでは明らかに荷が重い。		
3	5	ハナズボンダイ		自分の形には持ち込みそうだが、いかんせん相手が強い。前走大井1800mのTCKバーベキューガーデン賞では1分58秒1で2着。ここで上位争いするには時計を3~4秒ほど詰める必要があり、それは現実的ではない。		
	6	ウィンターフェル	◎	今年初戦の京浜盃は3コーナーで1~4番手にいた馬のうち3頭が12、13、14着に敗退。その中で本馬は外目3番手を追走し、最後までしぶとく粘って2着に好走。かけ値なしに強い競馬で、終始インペタで完璧な騎乗に助けられた勝ち馬ステッペンウルフより強かったのは間違いない。		
4	7	アエノエンペラー	▲	2歳時は目立つ存在ではなかったが、1戦毎にパフォーマンスを上げており、今年初戦の若獅子特別でステッペンウルフの2着に好走すると、続くクラシックトライアルでは1頭だけやや抜けた上りをマークして完勝。一気に本格化する傾向のあるロベルト系らしく、ここに来てメキメキと力をつけている。		
	8	フォルベルス		1勝馬で前走クラウンカップでは5着に敗退。S Iでは荷が重い。		
5	9	シビックヴァーゴ	×1	前走京浜盃で早めに動いて6着に健闘。ハイセイコー記念以来の実戦だったことを考えると、レース内容は決して悪くない。母系はダートの活躍馬が多いスカーレット一族。血統的なポテンシャルは高い。		
	10	ミューチャリー	○	前走雲取賞ではまさかの2着に敗れたが、勝ち馬ヒカリオーソとのコース取りの差を考えれば、むしろ改めて能力の高さを示した一戦だった。今の大井はあそこまで極端なバイアスが出ておらず、能力が反映されやすい馬場。鎌倉記念の強さをここでも出せれば、圧勝まであっても不思議ではない。		
6	11	ヤマショウブラック		南関東に転入後、ステッペンウルフ、アエノエンペラーに完敗している馬。未脚堅実なタイプだが、S Iでは荷が重い。		
	12	ステッペンウルフ	△2	前走京浜盃で本命に推したが、正直上手く行き過ぎた感。レースセンスに溢れているので、「上手く行くことが多い」タイプではあるのだが、当時の2着ウィンターフェル、3着ホワイトヘッドがひと叩きされた効果が見込める一方、本馬は前走以上の上昇がなさそう。		
7	13	アギト		前走クラウンカップで本命に推し、3着に好走してくれたが、斤量57キロを背負っていたホールドユアハンドとの差をなかなか縮められなかったのはやや物足りなさが残った。左海騎手-小久保厩舎のラインは怖い、雲取賞、京浜盃のレースを振り返っても上位勢とは能力差がありそう。		
	14	フォルデュラン		3歳405万円以下の下級条件でも上位争い出来ていない馬。ここは参加するだけだろう。		
8	15	ジョーパイロライト	△3	思い切って前付けすれば不気味。前走京浜盃は直線でやや窮屈になるシーンがあり、体勢的にもやや厳しかった。外目3、4番手でストレスなく運べれば、もう一段上のパフォーマンスを見せられるだろう。		
	16	ホワイトヘッド	△1	前走京浜盃で上がり最速をマークして3着に好走。展開が向いたのは間違いないが、北海道2歳優駿以来の実戦、しかも馬体重が+20キロであそこまで走れたのは素直に評価していいだろう。今回は叩き2戦目。もう一段上のパフォーマンスを見せてくるかもしれない。		